

Cassina NEW PRODUCT 〈CAB Lounge, CAB Night〉

株式会社カッシーナ・イクスシー(本社:東京都港区、代表取締役社長:森 康洋)は、2015年10月7日(水)~9日(金)の間、イタリアより建築家マリオ・ペリーニ氏を招き、CAB(キャブ)シリーズの新作発表をいたします。

〈全世界で50万脚以上販売された、デザイン史に残るレジェンド〉

1977年にデザインされ、マリオ・ペリーニ氏の作品の中で最も認知されているアイテムの一つ、CABチェア。カッシーナ社のベストセラーであり、これまでに全世界で50万脚以上を販売しています。

CABは、人間の体の延長としてデザインされました。メタルのフレームにまるで手袋のようにフィットするサドルレザーは、紛れもなくカッシーナ社の卓越したクラフトマンシップによるものです。その構造的で有機的なデザインは長年にわたって賞賛され、どのような空間でも幅広く選択できる新たなカラーバリエーションを追加した今年、再び注目を集めています。

〈新たなCABコレクションの誕生〉

豊富なカラーバリエーションのほか、今年4月のミラノサローネでは新たに、〈CAB Loungeアームチェア〉と〈CAB Nightベッド〉を発表しました。CABコレクションの特徴でもある、しなやかで美しく仕立てられたラインが、これらの新しいアイテムにも反映されています。

〈実験と革新:デザイン界で数々の賞を受賞〉

ペリーニ氏は、ミラノの有名な百貨店「ラ・リナシェンテ」でデザインの見習いを短期間務めた後、若くしてCassina社と協業を始めました。そこからCassina社とペリーニ氏の様々な革新的プロジェクトが始まり、60年代、70年代と、実験的な作業を経て独創的なデザインを創出。新しい素材や構造的技術の研究は、タイムレスな魅力をもつBREAKチェアのようなアイテムを誕生させました。ペリーニ氏と構造的デザインの密接な関係およびそれに対する情熱は、Cassinaのためにデザインしたラ・ロトンダ、ラ・バシリカ、バンテオンといったテーブルから見てとることができ、それらは家具デザインと建築の強い関係性をも強調しています。複雑な組み木の構造をもつマスターピースは、正しくCassina社に長く受け継がれてきた木工の熟練技によるものです。

今回、新作と合わせて「マリオ・ペリーニの家具全集」シリーズなどを展示いたしますので、是非ご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。



CAB Lounge (キャブ ラウンジ)

デザイン: Mario Bellini (マリオ・ベリニ)

ゆったりとして魅力的なCAB ラウンジは、サドルレザーを用い、内側も外側も熟練の技術により仕上げられています。まるでテーラードスーツのようにスチールのフレームをサドルレザーでまとい、構造的にも実質的にもしなやかな身体の形状を完璧にサポートするというCAB チェアの独自のコンセプトが、このたびアームチェアにも応用されました。その張地は11種類のレザーパーツが縫い合わされ、4つのジッパーでまとめられています。

アームチェア W810×D800×H1000 (SH430) mm ¥740,000 ~

オットマン W540×D455×H359mm ¥260,000 ~

サドルレザー:ブラック、ブラウン、トープ、チャイナレッド、ブルー

クッション・ヘッドレスト: サドルレザーと同色

ベース:マットブラック、マットグレーベージュ、マットチェスナットブラウン



CAB Night (キャブ ナイト)

デザイン: Mario Bellini (マリオ・ベリニ)

CAB ナイトの構造とベッドの脚部は、他のCABシリーズと同様にサドルレザーで張り込まれ、特にパーツのジョイント部分には卓越したクラフトマンシップが発揮されている様子を見て取れます。ベッドのヘッドボードはパディングが施され、中央のステッチが特徴的。この部分には、革をより一層柔らかくする特殊ななめし工程を経た稀少なレザーを使用しており、身体を預けた際の幸福感を際立たせています。フレームにはソフトレザーが張り込まれていますが、革の厚みが精緻な職人技により巧みに処理されています。

クイーン:W1600×D2000×H1000mm 本体・ベース ¥1,100,000 ~

キング:W1800×D2000×H1000mm 本体・ベース ¥1,300,000 ~

レザー:ブラック、ロシアンレッド、ナチュラル、ポーセリン、ベージュ、トープ、ブルー



MARIO BELLINI

1935年、イタリア・ミラノ生まれ。1959年ミラノ工科大学建築科卒業。1976年カッシーナ社の為の一連の家具シリーズをはじめ、タイプライター、自動車の内装、家電、照明など幅広く手掛ける。各種建築デザイン賞を多数受賞しており、コンパッソ・ドーロ賞は8度受賞。このほかにも建築・デザイン界への功績を称えられイタリア建築金賞(メタリアドーロ)、ミラノ市に貢献した人物に贈られるアンブロージョ金賞も受賞。ニューヨーク近代美術館には25点の作品がコレクションされており、1987年にはベリーニに捧げられた回顧展が開催された。1980年以降は主に建築プロジェクトを手掛けている。

■過去のプロジェクト

ボルテロ国際見本市会場(イタリア・ミラノ)
ヴィラ・エルバ展示会場(イタリア・チェルノビオ)
横浜ビジネスパーク(日本)
東京デザインセンター(日本)
リゾナーレ 八ヶ岳(日本)
NATUZZI北米本社(アメリカ)
エッセン国際見本市会場新館(ドイツ)
ヴィクトリア州国立美術館改修拡張プロジェクト(オーストラリア)
ドイツ銀行(ドイツ・フランクフルト)
見本市フォーラム(イタリア・ヴェローナ)
市立歴史博物館(イタリア・ボローニャ)
ルーヴル・イスラム芸術展示館(フランス・パリ)
新コンベンションセンター(イタリア・ミラノ)
トリノ文化センター(イタリア・トリノ)

■進行中のプロジェクト

ブレラ美術館(イタリア・ミラノ)
エルツエリ科学技術研究所(イタリア・ジェノヴァ)
シヴィックマーブルスクエア(イタリア・カララ)

■デザイン中のプロジェクト

エコシティ(中国・鎮江市)
レジデンシャル&文化・スポーツ振興施設(カタール)